

ありまふじ里山だより

Vol. 1

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol. 1 は里山再生に向けた取り組みや、里山の季節の様子をお届けします。



ふと足元に目をやると、小さな芽を出したどんぐりを発見！この小さな芽が、日をいっぱい浴び、やがて大きく成長します。その頃には、どんな森に生まれ変わっているのか楽しみです♪

森の再生、始まる！

里山を守るために木を切る。そんな取り組みが始まっています。高木化してしまった木を切り、萌芽再生によって若く元気な里山に再生させる試みです。里山林の一部に実験区を設け、昨年度伐採をおこないました。

今は寒々しい姿をしています。やがて切り株からひこばえが伸び、数年後には青々と茂った姿になると期待されます！かやぶき民家からも見ることが出来ますので、ぜひお越しの際はその変化の様子をご覧ください。

春の芽吹き

かやぶき民家のまわりでは、春の野草のあいだからすくっと伸びたツクシが顔を覗かせ、すっかり春の様相です。里山林ではコバノミツバツツジやモチツツジの蕾が膨らみ、今にも花開こうとしています。

あたりにはカエルの声や鳥のさえずりがどこからともなく聞こえ、日差しの暖かさとともに、春の訪れを肌で感じます。

